

2018年5月30日(水)

参加者：親子12組(子ども13人) スタッフ：3人

保育士：2人 院生3名

担当：清水ゼミ 学部生14名

内容：音で遊ぼう 「デンデン太鼓を作ろう」

- ① 13:30 ~ お名前呼び(タンバリンを使って)
- ② 13:40 ~ デンデン太鼓づくり・マラカスでリズム
- ③ 14:00 ~ 自由遊び
- ④ 14:40 ~ お帰りの手遊び(あんころもち)



プログラムとゼミ紹介(写真1・2)



お名前呼び(写真3)



でんでん太鼓作り(写真4)



一緒に作ると楽しいね!(写真5)



ほら、鳴らせるよ!
(写真5)



できた!
(写真6)



マラカスでリズム遊び
(写真7)



太鼓とマラカス
(写真8)

大学3回生の学生たちによるプログラム「音で遊ぼう」を行いました。お名前呼びと手遊びの後、デンデン太鼓づくりをしました。デンデン太鼓は、紙皿2枚を中表に合わせて割りばしを挟んだものです。太鼓部分の両端には糸で結んだ鈴をつけています(写真8左)。模様以外を完成させた状態まで事前に準備してあったものを配り、そこにクレヨンで模様を描いていきました(写真4・5)。子どもたちは、大学生のお兄さん・お姉さんに囲まれながら、母親と一緒にそれぞれ自分ができる範囲の模様を描いていました。1歳前後の子どもたちはお母さんと一緒に行き、描かれるカラフルな線をじっと見つめながら小さな手を動かしていました(写真4)。3歳前後の子どもたちは、時々手伝ってもらいながらも、自分でカラフルな線をたくさん引いて模様をつけ、中には顔を描いている子もいました。

デンデン太鼓の鳴らし方が説明されると、子どもたちは割りばし部分を両手にはさみ、両方の手のひらでこすり合わせるようにして鳴らすことを楽しんでいる様子でした。その後、透明なコップで作られたマラカスが配られ、リズムに合わせてマラカスを振る遊びを行いました。最初は“ウン(1拍休む)、トーン(1拍鳴らす)”と、単純なリズムをとりながら手を大きく動かしてマラカスを鳴らしました。徐々に複雑なリズムに挑戦しましたが、子どもたちに間違いを気にする様子は見られず、自分の好きなリズムを振り続けていました。子どもたちは楽器を鳴らすのが大好きです。多くの笑顔が見られました。音楽に合わせて楽器を鳴らす時間をとらなかつたので、設定遊びは20分ほどで終わりました。その分、自由遊びの時間をたっぷりとることができ、学生たちは積極的に子どもたちと関わっていました。ままごと、滑り台、大きなボールでのキャッチボール、フラフープ、ボールプールなど、子どもたちが好んで遊んでいるところに学生が入っていき、楽しそうに一緒に遊ぶ声があちらこちらから聞こえていました。